

議員の聴取メモ（まとめ）

1. 政治関心の低下と「主権者教育」への強い危機感

投票率の低下や市民の政治離れに対する危機感に関するメモが多い。

- **主権者教育の必要性:** 多くの議員が、単なる投票呼びかけではなく、子ども議会を含む「主権者教育」への取り組みが必要であると記録している。
- **なり手不足の背景:** 議員のなり手がいない原因として、議員の仕事内容が市民に理解されていないことや、「他職の方が良い」と思われている現状が指摘された。
- **投票へのハードル:** 「投票所に行きにくい」という声に対し、移動支援（タクシー等）や投票所の配置見直し、投票済証（シール）や抽選といったインセンティブの導入が検討課題として挙げられた。

2. 防衛・基地問題に対する切実な懸念

防衛関連の具体的なキーワードが詳細に記録されており、市民の不安を重く受け止めている様子がうかがえる。

- **具体的な装備・運用への不安:** 演習場に関連し、MLRS（多連装ロケットシステム）、HIMARS（ハイマース）、12式地对艦誘導弾（12SSM）の受け入れや、オスプレイの夜間飛行（22時以降）に対する懸念。
- **地域への影響:** これらが「住みよい地域」づくりとどう両立するのか、国策とはいえ議会としてどう向き合うか。

3. 広報のあり方と「接点」の創出

現在の議会広報が市民に届いていないことへの反省と、新しいコミュニケーション手法の模索。

- **「発信が下手」という自覚:** 「ベースの情報ばかりで面白くない」「もっとオープンにして『いいね』をもらえる情報を」といった、発信内容の刷新が必要。
- **気軽な相談の場:** 連絡所の看板はあるものの実効性が薄いため、「議員カフェ」のような、関心の有無にかかわらず市民が立ち寄れる接点（ツール）の必要性がメモされている。

4. 地域資源と生活環境（ハード面）の課題

具体的な地域課題として、教育環境の統廃合や、公園・文化財の扱いについて。

- **学校・保育:** 小学校の廃校（富岡第二地区など）をどう考えるか、保育園の問題、また学童送迎時の安全性についての指摘がありました。
- **公園・文化財:** 御師公園の整備状況が不明確である点や、建物の要不要についての議論、また深良山城跡や清水館といった地域資源をもっと活用すべき（勉強会の開催など）という前向きな提案も記録あり。

5. 議会運営そのものへの問い

市民からの厳しい視線を受け、議会活動のプロセス自体を見直そうとする記述も見られた。

- **PDCAの導入:** 議会活動にもPDCAサイクルを取り入れ、改善を繰り返すべき
- **審議の実効性:** 「議会の審査で結論が変わるのか？」という根本的な問いが投げかけられています。
- **透明性:** 議員報酬などをさらに明らかにすべきという意見。